

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 演習	必修・選択の別	選 択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧・下園美保子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

これまでの学びを基に、「個から地域へ」の展開や社会的な要因の影響を考え、個人及びコミュニティを対象に多面的・多角的アセスメントを行う公衆衛生看護活動の展開を学びます。公衆衛生看護学実習での経験をふまえて学びの統合を目指します。また近年重要な公衆衛生看護活動のテーマである、健康危機管理や国際保健についても学びます。

【到達目標】

1. 個別事例から地域の健康課題を把握する際の考察について説明できる。
2. 健康危機に対応する公衆衛生看護活動の一連を資料を用いながら説明できる。
3. 住民組織活動の支援について説明できる。
4. 公衆衛生看護活動における地域の支援体制づくりについて説明できる。
5. 地域の健康課題解決に向けた地域組織の役割と組織支援について説明できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 講義：保健師活動指針と公衆衛生看護活動
- 第 2 回 講義：「個から地域への」視点Ⅰ 個別の健康課題から見える地域の健康課題
- 第 3 回 演習：「個から地域への」視点Ⅱ 地域の健康課題に対応する保健施策の展開
- 第 4 回 講義：健康危機管理：健康危機管理のサイクルとリスクコミュニケーション
- 第 5 回 演習：健康危機管理：健康危機発生時（自然災害）の保健師活動
- 第 6 回 講義：グローバル化に対応する公衆衛生看護活動
- 第 7 回 講義：地域を構成する＜組織＞への公衆衛生看護技術
- 第 8 回 演習：実習地域における公衆衛生看護活動：子育て支援・生活習慣病対策・介護予防活動を中心に
- 第 9 回 講義：地域包括ケアシステムの構築
- 第 10 回 演習：実習地域における公衆衛生看護活動：精神保健福祉活動を中心に
- 第 11 回 演習：地域共生社会の構築と実習地域での取り組み
- 第 12 回 演習：健康の社会的決定要因と実習地域の健康課題
- 第 13 回 演習：行政機関における公衆衛生看護活動の実際
- 第 14 回 演習：公衆生成看護活動の展開 1
- 第 15 回 演習：公衆生成看護活動の展開 2

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

授業前後で配布する資料を熟読し、事例についてイメージを持ち予備知識の充足、授業後の理解の定着を行う。

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ」等 公衆衛生看護学の科目および「公衆衛生看護学実習」

【教科書等】

岡本玲子ほか：公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版，医歯薬出版株式会社，2022。
 佐伯和子ほか：公衆衛生看護学テキスト第2巻 公衆衛生看護の方法と技術 第2版，医歯薬出版株式会社，2022。
 一般財団法人厚生労働統計協会：国民衛生の動向 2023/2024，一般財団法人厚生労働統計協会，2023。

【参考文献】

守田孝恵：PDCAの展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動』改訂版，クオリティケア，2019。
 全国保健師教育機関協議会：健康危機管理の保健師活動，全国保健師教育機関協議会，2023。

【成績評価方法】

筆記試験の成績 80%、提出物 15%、授業態度 5%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験をはじめ、職域保健、NPO 等で健康支援の実践歴を持つ教員が、その経験を活かし授業と演習を展開します。

【学生へのメッセージ】

今までに学んだ科目を統合し、住民とともにつくる健康な地域支援体制づくりや個別の健康課題から地域の健康課題の改善へと展開する公衆衛生看護活動を学びます。個人やコミュニティに学び、個人やコミュニティに還元する公衆衛生看護活動のダイナミクスを学んだうえで実習に臨みましょう。